



ジョイス・ムスヤ氏 (Ms. Joyce Msuya)

国連人道問題担当事務次長補 兼 緊急援助副調整官

**(United Nations Assistant Secretary-General for Humanitarian Affairs and
Deputy Emergency Relief Coordinator)**

2022 年 2 月、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、国連人道問題調整事務所（OCHA）の人道問題担当事務次長補 兼 緊急援助副調整官にタンザニア出身のジョイス・ムスヤ氏を任命しました。世界 60 か国に 2,480 人の職員を擁する OCHA は、人道支援を行う諸団体を取りまとめ、迅速で、整合性のとれた人道支援を確保する責任を負う国連機関です。

ムスヤ氏は、国際開発および金融の分野で 20 年以上の経験を有しており、主に戦略策定、オペレーション、パートナーシップ構築の分野において、アフリカ、アジア、ラテン・アメリカで多様な任務を担ってきました。

2018 年から、ムスヤ氏はケニアのナイロビにある国連環境計画（UNEP）の副事務局長を務めました。2018 年から 2019 年にかけては、UNEP の事務次長レベルの臨時事務局長を務め、国連環境総会の第 4 回会合を主導し、活動資金の調達に尽力しました。

ムスヤ氏は、世界銀行グループにおいて、韓国駐在特別代表兼事務所長、世界銀行研究所（中国）地域コーディネーター、世界銀行の当时的上級副総裁兼チーフエコノミストの特別顧問など、数々の上級管理職を歴任。また、国際金融公社（IFC）では、アフリカとラテン・アメリカで製造業、農業関連産業、サービス業などの戦略・運営を指揮しました。

英語、スワヒリ語、パレ語に堪能です。